

月刊OLマニュアル……2006年2月25日発行Vol.18 / No.205 (毎月1日・25日発行) / 1989年7月25日創刊の最新情報誌

仕事と生き方について考えるワーキングガールのための月刊誌

OLMANUAL

<http://www.kens-p.co.jp>

MARCH, 2006
Vol.18 No.205

3

特別企画
オフィスの「不愉快な人たち」との
上手なつき合い方



社会人なら最低これくらいは知っておきたい

「小遣い帳」で理解する 「会社の決算」の 意味としくみ

3月が近づいてくると「決算」というコトバを耳にしたり、目にする機会がぐんと増えてきます。これは多くの企業が3月に決算期を迎え、決算書を作成するためです。こんなに身近なコトバ「決算書」、でもいざ、「決算書ってどういうもの?」と尋ねられた時、あなたはひと言で説明することができますか?ここでは、決算書の意味としくみについてわかりやすく解説します。

落合会計事務所 今堀恭子

「決算書」は企業の通知表

企業は、少なくとも1年に1度、自社の通知表を発表します。これが「決算書」です。この通知表には、この1年の企業の良いところ、悪いところが数字でぎっしりと表われています。読みこなせるようになれば、その企業が超優良企業なのか、そうでないのかが、すぐにわかるようになります。

あなたの子供の頃を思い出してみてください。通知表の数字を見て、良い科目は現状維持か、いっそうの伸びを誓い、一方で振るわなかった科目については重点的に対策を考へましたね。じつは企業も全く同じなのです。

では、決算書とは一体どのようなものなのでしょう。じつは「決算書」と言っても1枚の書類で成り立っているわけではありません。

主な書類は次の二つです。

- ・貸借対照表
- ・損益計算書

さらに、ほかにも次のような書類があります。

- ・「キャッシュフロー計算書」
- ・「利益処分案」(損失が出ている企業は「損失処理案」)
- ・「附属明細表」

この5種類の書類の総称を「決算書」と言います。

決算書はお小遣い帳と同じなの?

先ほど述べた決算書の書類には、それぞれ役割があります。

「貸借対照表」は決算日時点で企業にある財産などを示した、言わば「財産目録」です。一方で「損益計算書」はその決算年度に企業がどうやっていくらか儲けたかを教えてくれる書類です。

「キャッシュフロー計算書」はお金のみに焦点をあて、その流れをつかむ書類です。売掛金や買掛金といったいわゆる「ツケ」での、現金の動いていない売上や仕入などの額は記載されていません。最近、金融機関では融資の目安として大変注目しています。

「利益処分案」は利益の分配方法を教えてくれる書類、「附属明細表」は貸借対照表や損益計算書が説明しきれなかった細かな情報をより詳しく説明したものです。

このように、決算書のそれぞれの書類は役割が全く違います。でもこうした書類の説明だけでは、実際の決算書のイメージはなかなか湧かないものです。そんな時は、身近なお小遣い帳から決算書を理解すると良いでしょう。

ここで、1ヵ月間のお小遣い帳をもとに「財産目録」と「儲けを表わす表」の二つを作成してみます。もちろん全く同じというわけではありませんが、こ

れが企業の決算書の主役でもある「貸借対照表」と「損益計算書」に似ていると言えるでしょう。

次ページ図1はOLハルカさんの1ヵ月のお金の出入りをまとめたお小遣い帳です。このお小遣い帳と次の説明文を参考に、決算書風の書類を作成してみましょう。

OL3年目のハルカさんは、都内で一人暮らしをしています。一人暮らしは気楽な反面、家賃や光熱費など、何かとお金がかかるのを痛感する毎日。今月は、ラッキーなことに宝くじで1万円当選したものの、うっかりトイレで2千円を落とすなど、いつもと違った月でした。そんなハルカさん、月末にぐるっとお部屋を見渡したら、一人暮らしを始めてから自分で買ったものが随分あることに気がつきました。パソコン、オーディオ、自転車、ベッド……。ざっと58万円分くらいあります。でも、こ

【図2】ハルカの財産目録

今月末現在		(単位 円)	
資産の部		負債の部	
現金	36,500	クレジットローン	70,000
銀行預金	1,320,000		¥70,000
マンション家財	580,000		
	¥1,936,500		

【図3】一般的な企業の貸借対照表

平成18年3月31日現在 (単位 百万円)			
資産の部		負債の部	
流動資産	19,000	流動負債	12,000
現金及び預金	5,000	支払手形	3,000
受取手形	3,000	買掛金	4,000
売掛金	4,000	短期借入金	5,000
有価証券	2,200	など	
商品	1,000	固定負債	16,000
製品	800	長期借入金	16,000
仕掛品	600	など	
原材料	1,200	負債の部 合計	28,000
前払費用	500		
短期貸付金	700		
固定資産	30,800		
有形固定資産	27,000	資本の部	
建物	8,000	資本金	12,000
建物付資産	3,000	資本剰余金	600
機械装置	400	資本準備金	600
工具器具備品	600	など	
土地	15,000	利益剰余金	9,400
無形固定資産	1,700	利益準備金	400
商標加入権	300	返戻金	9,000
ソフトウェア	400	資本の部 合計	22,000
特許権	1,000		
投資その他の資産	2,100		
投資有価証券	1,100		
子会社株式	1,000		
など			
繰越資産	200		
資産の部 合計	50,000	負債及び資本の部 合計	50,000

お給料の25万円です。そこからこの1ヶ月にかかった費用を引きます。ところが今月は完くしに当選したり、お金を落としたりと特別な収益と損失が発生しました。この金額も最後に足したり引いたりした結果、今月のハルカさんの儲けは51,500円となります。

つまり、最後に手元に残っているお金(「営業損益の部」)がその期間の儲けではないということ。企業の「損益計算書」を見てみましょう(次ページ図5)。上の売上高から順番に数字を足したり、引いたりしながら最後に当期純利益を求めていること

とがわかります。「損益計算書」には①「営業損益の部」、②「営業外損益の部」、③「特別損益の部」という部門があります。これは、儲けの方法の違いによって分けているのです。

①「営業損益の部」：会社の本業で儲けた金額がわかる

②「営業外損益の部」：財テクで儲けた金額がわかる(株投資や受取利息など)

③「特別損益の部」：特別な事情での利益や損失がわかる

先ほどのハルカさんの場合も、特別に発生した収益と費用(宝くじ当選の収益とお金を落とした際の損失)はほかのものとは分けて記載しましたね。こうすることによって、どうやって儲けたのかをよりわかりやすくしています。とても親切なくみなのです。

＊損益計算書を理解するキーワード＊
その1 その期間の儲けがわかる

【図1】ハルカの今月のお小遣い帳

	入金	出金
前月末から手元に残っていた現金	25,000	
給料(手取り)	250,000	
食費		30,000
家賃		65,000
交際費(デート、飲み会など)		40,000
新聞図書費(新聞、雑誌)		5,000
消耗品費(キッチン、風呂用品など)		2,500
水道光熱費(電気、ガス、水道)		12,000
通信費(携帯、パソコンプロバイダ)		9,000
雑費(洋服、靴)		35,000
美容費(化粧品)		8,000
クレジット返済		20,000
銀行預金		20,000
宝くじ当選	10,000	
お金落とす		2,000
計	¥285,000	¥248,500
翌月繰越現金	¥36,500	

*1 ローンの高は¥70,000になった
*2 前月末時点で¥1,300,000

だし、企業の貸借対照表には、「資産の部」、「負債の部」のほかに「資本の部」というスペースがあります。どの会社も、最初に会社を動かしていくための土台「資本金」が必要。その資本金と過去に稼いだ利益が記載されているのが、この「資本の部」です。

ここで企業の「貸借対照表」をじっくり観察してみると、あることに気がつきます。左側(資産の部)の合計額と右側(負債の部)の合計額を比べると、88ページ図4を見てみましょう。ハルカさんの1ヶ月の売上高は

れらを買うために一部はローンを組んでいるのも事実です。

貸借対照表
ハルカの財産簿

次ページ図2のように左側にハルカ

さんが持っている資産、右側に抱えている負債をまとめて記載しました。このように整理してみるとすっきりとわかりやすいですね。これを実際の企業の貸借対照表(次ページ図3)と比べてみると、とてもよく似ています。ただし、企業の貸借対照表には、「資産の部」、「負債の部」のほかに「資本の部」というスペースがあります。どの会社も、最初に会社を動かしていくための土台「資本金」が必要。その資本金と過去に稼いだ利益が記載されているのが、この「資本の部」です。

ここで企業の「貸借対照表」をじっくり観察してみると、あることに気がつきます。左側(資産の部)の合計額と右側(負債の部)の合計額を比べると、88ページ図4を見てみましょう。ハルカさんの1ヶ月の売上高は

【図6】キャッシュフロー計算書

自 平成15年5月1日
至 平成16年4月30日

(単位:百万円)	
1	営業活動によるキャッシュフロー
	税金等調整前当期純利益 16,400
	減価償却費 1,200
	為替差益 1
	ゴルフ会員権評価損 58
	貸倒引当金の減少額 -41
	買掛引当金の増加・減少額 262
	退職給付引当金の増加額 42
	役員退職慰労引当金の増加・減少額 -464
	受取利息及び受取配当金 -28
	支払利息 9
	売上債権の増加額 -4,284
	たな卸資産の減少額 409
	その他の流動資産の増加額 -2,263
	その他の固定資産の減少額 71
	仕入債権の増加額 3,625
	未払消費税等の増加額 17
	その他の流動負債の増加額 2,225
	その他の営業活動による純増加額 72
	小計 20,577
	利息及び配当金の受取額 28
	利息の支払額 -10
	法人格等の支払額 -8,514
	営業活動によるキャッシュフロー 11,246
2	投資活動によるキャッシュフロー
	有価証券・投資有価証券の取得による支出 -260
	有形固定資産・無形固定資産及び長期前払費用の取得による支出 -707
	ゴルフ会員権・その他投資の取得による支出 -31
	関係会社仕立金の取得による支出 45
	その他の投資活動による純増加額 45
	投資活動によるキャッシュフロー 7,925
3	財務活動によるキャッシュフロー
	長期借入金の返済による支出 -6,653
	自己株式の取得による支出 -1,628
	配当金の支払額 -2,032
	財務活動によるキャッシュフロー -10,295
	現金及び現金同等物に係る増減差額 -76
	現金及び現金同等物の増減額 1,218
	現金及び現金同等物の期首残高 24,021
	現金及び現金同等物の期末残高 25,237

【有価証券報告書及び株式会社伊藤園のホームページより作成】
【女性のたのびが響いた決算書の読み方】より抜粋

決算書の読み方

です。この飲料メーカーは理想の形になっていますね。

決算書を読む時に大切な心得は、次の三つの点です。

- 〈心得その1〉時系列で見る
- 〈心得その2〉同業他社と比べる
- 〈心得その3〉「%」(パーセンテージ) (パーセント)

心得その1

時系列で見る

A会社の今期の損益計算書の売上高が280億だったとします。この数字だけを見てもこの企業にとって良い数字なのか、悪い数字なのかはわかりません。同じ会社の過去の損益計算書の売上高の数字と比べてみて、初めて「今期は売上好調だった!」や「うん、いまひとつ」ということがわか

心得その2

同業他社と比べる

たとえばサービス業と小売業とではお金のかかる部分があります。モノを売らないサービス業では、お金の多くが人件費に使われますが、小売業では商品の仕入れにお金がかかります。それなのに異業種の決算書と比較して、「こちらの企業の経営成績がいいわ」と結論づけるのはナンセンスです。

同じようなお金の使い道をしている同業者同士を比較することによって、業界内での位置やその企業の強みや弱みを知ることができます。たとえばデパートの伊勢丹、三越、高島屋の決算書を比較してみる、という風にはずす。

心得その3

「%」(パーセンテージ)で見る

決算書を読みこなすうえで一番知っ

【図5】一般的な企業の損益計算書

損益計算書

自 平成17年4月1日
至 平成18年3月31日

(単位:百万円)	
①	営業損益の部
	営業収益
	売上高 100,000 A
	営業費用
	売上原価 65,000 B
	売上総利益 35,000 A-B
	販売費及び一般管理費 33,000 ⊖
	営業利益 2,000
②	営業外損益の部
	営業外収益 500 ⊕
	営業外費用 1,300 ⊖
	経常利益 1,200
③	特別損益の部
	特別利益 600 ⊕
	特別損失 800 ⊖
	税引前当期純利益 1,000
	法人税、住民税及び事業税 400 ⊖
	当期純利益 600
	前期繰越利益 8,400
	当期未処分利益 9,000

【図4】ハルカの今月の儲けは?

1日~31日 (単位:円)

売上高		
お給料(手取り)	250,000	①
費用		
食費	30,000	
家賃	65,000	
交際費	40,000	
新聞図書費	5,000	
消耗品費	2,500	
水道光熱費	12,000	
通信費	9,000	
被服費	35,000	
美容費	8,000	
計	206,500	②
売上高-費用	43,500	③=①-②
宝くじ当選	10,000	④
お金落とす	2,000	⑤
利益	¥51,500	⑥=③+④-⑤

その2 「営業損益の部」「営業外損益の部」「特別損益の部」がある

キャッシュフロー計算書

ハルカのお小遣い帳そのもの!

次ページ図6はある飲料メーカーのキャッシュフロー計算書です。キャッシュフロー計算書は次の三つの部分に分かれます。

- ①「営業活動によるキャッシュフロー」
: 会社の本業での現金の出し入れ
 - ②「投資活動によるキャッシュフロー」
: 株式、固定資産の取得や売却による現金の出し入れ
 - ③「財務活動によるキャッシュフロー」
: 借入れによる収入やその返済などによる現金の出し入れ
- ①は本業が好調ならばプラス(現金が入る)、②は活動が活発になるほどマイナス(現金が出ていく)、③は順調に借入金を返しているほどマイナスになるのが理想のキャッシュフロー計算書

ておきたい心得です。知りたい項目が全体の数字の中でどのくらいの割合を占めているのかを計算することで、決算書の分析に役立てます。分析のための「%」は多くありますが、ここでは主なものを紹介します。

●貸借対照表から読み取る「%」*
 ◎自己資本比率：安全性を知る「%」
 会社を運営するための資金は、他人から借金（＝負債）をして調達するか



●損益計算書から読み取る「%」*
 ◎売上高利益率：収益性を見る「%」
 ◎売上高に占める利益の割合を計算することで儲ける力を判断します。前述

◎ROE：稼いだ利益が株主に還元される割合を示すもので、自己資本に対する当期純利益の割合から求めます。当期純利益/自己資本×100
 ◎ここまでご紹介した、決算書を読む時の三つのポイントも、基本はお小遣

い帳と同じ。過去のお小遣い帳と比較してみたり、周りの人とのやりくりの仕方を比較してみたり、自分は何にお金をかけているのか検討してみたり。そう考えれば、決算書もとくに難しいこととはありませんよ。

では、実際に図3の貸借対照表と図5の損益計算書から次の四つの「%」の指標を計算してみましょう。

・自己資本比率・売上高営業利益率
 ・売上高経常利益率・ROE

【図7】

●自己資本比率	$\frac{22,000}{28,000+22,000} \times 100 = 44 (\%)$
●売上高営業利益率	$\frac{2,000}{100,000} \times 100 = 2 (\%)$
●売上高経常利益率	$\frac{1,200}{100,000} \times 100 = 1.2 (\%)$
●ROE	$\frac{600}{22,000} \times 100 = 2.7 (\%)$

ももとの自分が持っている資金、もしくは稼いだ利益（＝資本）を使うかのどちらかです。そのため負債のことを「他人資本」、資本のことを「自己資本」とも呼びます。

負債も資本も企業を運営するために必要な資金ですが、負債は必ず返済を迫られます。返済の必要がない資本が負債より多くあるほうがいいですね。

そこで、会社を運営するための資金の合計（＝総資本＝負債の部＋資本の部）のうち資本の部の占める割合を示したものが「自己資本比率」です。

自己資本比率＝資本の部 / (負債の部＋資本の部) × 100

この数字が大きいほど会社の経営は安定し、潰れにくくなります。

決算書を読みこなせるようになる
 となるとこんなにおトク

居酒屋「和民」でおなじみのワタミ社長渡邊美樹氏は若い頃、会社を経営するのに必要なのは「経理」の知識だ、と思い、一年間わざわざ経理会社で働いていたことがあります。このように、会計の知識を結集した決算書を読みこなせるようになることは、自分のキャリアアップに大きくつながる可能性を秘めています。

また、仕事だけでなく株式投資の銘柄選びや、再就職の時の会社選びなどにも充分力を発揮してくれます。

●いまほり きまこ
 1970年生まれ。慶應義塾大学商学部卒業。大手電機メーカーを結婚退職し、主婦業に専念。子供の成長を機に世田谷の二子玉川にある簿記士事務所勤務。共著「女性のために女性が書いた決算書の読み方」（中経出版）は、従業員にはない身近な例をあげながらの解説で好評を得ている。セミナーでも初心者向けの「決算書の読み方」講座の講師を務める。簿記士事務所 <http://www.ochikikaei.com/>。【近況】趣味は近所のママ友達とダンスに通う「カルトナージュ」（フランスで人気の布製製作。子供の頃ならいたった）と歌劇団のスターの夢をひきまき、観劇も大好き。人生は「思い切ること・人との出会い・運」が大切、と実感する今日この頃です。



まずは決算書に慣れることが決算書を理解することへの一番の近道ですから、自分が興味のある会社（花博管、洋服、映画会社...）の決算書を手に入れて、早速トライしてみましょう。決算書の入手方法は企業のHPや金融庁の「EDINET」（電子開示 <http://edinet.secd.go.jp/Eahtml/main.htm>）で簡単に誰でも手に入れることができます。

決算書が読めるようになると、きつと以前とは違った視点で仕事や私生活を送る自分になっているはず。

のように、損益計算書では儲けた方法別に収益が記載されています。

売上高に対する本業での収益力を知りたいければ、売上高営業利益率÷営業利益/売上高×100、売上高に対して財テクを含めたトータルでの企業の収益力を知りたいければ、売上高経常利益率÷経常利益/売上高×100を計算します。

これらの「%」が大きければ収益力が強く、小さければ仕入れ代金や人件費を減らす、といった収益を上げるための方法を考え直す必要があります。

株式投資に役立つ「%」
 ◎ROE：稼いだ利益が株主に還元される割合を示すもので、自己資本に対する当期純利益の割合から求めます。当期純利益/自己資本×100